

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 438

事務事業名	竹松駅前原口線整備事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	森 経一	内線	424

基本目標	050201	機能的で環境と調和したまち
政策		道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	5	都市計画費	
目	2	街路事業	
事業コード	020501,02	社会資本整備総合交付金事業	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	大村市都市計画マスタープラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	都市計画道路・竹松駅前原口線利用者		
意図	当該道路の利用者及び地域住民の交通の利便性を図り、歩行者等の安全性を確保するとともに、周辺の土地利用の促進と地域振興のため、幹線道路網の整備を行う。		
事業概要	全体計画	道路改築 用地取得	延長L=600m 幅員W=16m A=6,642㎡ 建物補償 N=19件
事業期間	平成 22 年度	～	平成 29 年度
実施方法	直営		

成果指標名	当該路線の整備率			算定式等	当該年度までの整備済延長/当該路線の整備延長	
着手前現状値	平成 22 年度	単位	%			0
完了後計画値	平成 29 年度					100

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	3,539						
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額	21,977	1,443	1,193	4,500	4,500	4,500	
	項目別進捗率							
用地・補償	実績・計画額	85,896	81,807	53,619	103,800	75,500	195,500	
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額			90				
	項目別進捗率							
事務費等	実績・計画額	236	409	56	550	550	550	
	項目別進捗率							
合計	実績・計画額	111,648	83,659	54,958	108,850	80,550	200,550	0
	項目別進捗率							

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	85,909	83,659	54,958	108,850	80,550	200,550	0	0
国庫支出金	43,830	42,686	19,580	48,180	38,500	99,000		
県支出金								
地方債	39,500	36,876	31,700	54,100	37,300	90,900		
その他								
一般財源	2,579	4,097	3,678	6,570	4,750	10,650		
② 人件費(千円)	2,150	3,456	3,095	4,671	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.26	0.43	0.43	0.63	物件調査・ 用地補償 1式			
時間外勤務(時間)	42	103	31	45				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	88,059	87,115	58,053	113,521				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	平成27年度は、用地の一部を取得した。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JR竹松駅から国道34号を経て新興住宅街である富の原地区を結ぶ市街地補助幹線道路として、通勤通学の歩行者や自転車の安全確保及び自動車交通の円滑化を図る上でも本事業の整備は必要である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	近年、交通弱者である歩行者や自転車の安全性が叫ばれる中、公共交通輸送拠点施設である竹松駅に通じる当該路線の整備は緊急性が高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	政策である道路網の整備と公共交通の利便性の向上を図るため、公共交通輸送拠点施設と市街地を結ぶ幹線道路網の整備は非常に効果が高い。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	公共事業においては、コスト削減を図り実施しており削減の余地はない。						
見直し	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	社会資本総合整備交付金は国の補助率が定められており、見直しは困難である。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	事業実績が上がるまでは、現状維持としたい。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。